

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和8年1月16日（金）に開催された。

1 決裁事項

- ・ 令和8年度運転免許関係業務委託に係る公安委員会認定審査について
- ・ 警察職員の特別派遣の一部変更について（同意書）

2 報告事項

(1) 秋田県議会（令和7年12月議会）における審議状況について

県警察から、令和7年11月25日から同年12月19日までの間に行われた、秋田県議会（令和7年12月議会）における審議状況に関する報告があった。

委員から、「県議会は、県警察の活動をPRする機会にもなるため、県民の安全・安心を守るための理解と協力を得る重要な場と捉え、今後も丁寧かつ適切に対応していただきたい。」との発言があった。

(2) 県警察による計画外監察の実施結果について（令和7年度第3・四半期）

県警察から、令和7年10月1日から同年12月31日までの間に実施した、本部所属及び交番・駐在所に対する計画外監察の実施結果に関する報告があった。

委員から、「忙しい時期は、心や時間に余裕がなく、ミスが起きやすくなるため、特に注意を払うよう指導していただきたい。」「問題点を早期に発見し、適切に再発防止策を講じるためにも、計画外監察は大事であり、本年も引き続きよろしくお願いする。」との発言があった。

(3) 大仙市内における現住建造物等放火事件被疑者の逮捕について

県警察から、大仙市内における現住建造物等放火事件被疑者の逮捕に関する報告があった。

大仙市戸蒔地内の家屋に放火した現住建造物等放火事件の被疑者として、令和7年12月31日、無職女性（78歳）を通常逮捕したとのことであった。

委員から、「事件の真相究明に努めていただきたい。」との発言があった。

(4) 交通事故発生状況（概数）と特徴について（令和 7 年）

県警察から、交通事故発生状況（概数）と特徴に関する報告があった。

令和 7 年中の交通事故発生状況は、発生件数1,001件（前年比＋20件）、死者数33人（前年比＋2人）、負傷者数1,146人（前年比＋5人）、うち重傷者数150人（前年比－47人）であり、発生件数、死者数、負傷者数は微増したが、重傷者数については統計の残る昭和50年以降、最少であった。

歩行中の死者、自転車乗車中の死者が増加したことから、歩行者ファースト意識の更なる浸透と、4月から始まる自転車運転者に対する反則通告制度の適用を見据えたルールの周知と指導取締りを強化するほか、高齢者の交通安全意識の向上のためVRゴーグル等を活用した体験型交通安全教室の充実化を図るとともに、各警察署単位での交通事故分析結果に基づく地域の実情に応じた諸対策を推進していくとのことであった。

委員から、「自転車に関する道路交通法の改正やヘルメット着用の重要性について、県民に浸透するような取組を今後も進めていただきたい。」「75歳以上の高齢者が起こした事故が増加傾向にあり、高齢化が進む当県においては、今後の増加が危惧されることから、更なる高齢者事故抑止対策の推進に努めていただきたい。」との発言があった。